

新	旧
貸金庫規定 第1条（格納品の範囲） （１）～（２） 略 <u>（３）貸金庫には、次に掲げるものを格納することができません。</u> ① 現金その他のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点からリスクの高いと考えられるもの ② 危険物や変質、腐敗のおそれがある等、貸金庫の通常の用法による保管に適さないもの 第2条（利用目的の確認） <u>（１）貸金庫の契約の締結または利用等にあたっては、借主は、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点から、格納品が第1条に定める範囲を逸脱することがないかといった利用目的を、書面その他当金庫の定める方法で、申出を行うこととします。</u> <u>（２）貸金庫が、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等、不正利用されることを防ぐため、貸金庫内外でのカメラ撮影や利用時の職員立合い等の適切な方法で貸金庫の利用状況を確認させていただきます。</u> 第3条（契約期間等） 第4条（使用料） 第5条（鍵の保管） 第6条（貸金庫の開閉等） （１）～（２） 略 （３）<u>格納品</u>の出し入れは、当金庫所定の場所で行ってください。 （４） 略 第7条（届出事項の変更） （１）印章またはカードを失ったとき、または印章、名称、代表者、代理人、住所、	貸金庫規定 第1条（各納品の範囲） （１）～（２） 略 （３） （追加） 第2条 （追加） 第2条（契約期間等） 第3条（使用料） 第4条（鍵の保管） 第5条（貸金庫の開閉等） （１）～（２） 略 （３）各納品の出し入れは、当金庫所定の場所で行ってください。 （４） 略 第6条（届出事項の変更） （１）印章またはカードを失ったとき、または印章、名称、代表者、代理人、住所、

注：下線部分が変更箇所

2027年1月4日改定

新	旧
カードの暗証その他の届出事項に変更があったときには、直ちに書面によって当店に届出てください。<u>この届出の前に生じた損害については、当金庫は責任を負いません。</u>正鍵またはカードを失ったときも同様とします。 (2) 略 第8条（印章、カード、鍵の喪失時の取扱） 第9条（成年後見人等の届出） <u>（1）家庭裁判所の審判により、補助・保佐・後見が開始された場合には、直ちに成年後見人等の氏名その他必要な事項を書面によって届出てください。契約者の成年後見人等について、家庭裁判所の審判により、補助・保佐・後見が開始された場合も同様に届出てください。</u> <u>（2）家庭裁判所の審判により、任意後見監督人の選任がされた場合には、直ちに任意後見人の氏名その他必要な事項を書面によって届出てください。</u> <u>（3）すでに補助・保佐・後見開始の審判を受けている場合、または任意後見監督人の選任がなされている場合にも、第1項および第2項と同様に届出てください。</u> <u>（4）第1項から第3項の届出事項に取消または変更等が生じた場合にも同様に届出てください。</u> <u>（5）第1項から第4項の届出の前に生じた損害については、当金庫は責任を負いません。</u> 第10条（印鑑照合、暗証番号等） 第11条（損害の負担等） 第12条（反社会的勢力との取引拒絶） この貸金庫は、第13条第3項第1号、第2号AからFおよび第3号AからEのいずれにも該当しない場合に利用することができ、<u>第13条第3項第1号、第2号AからFまたは第3号AからEの一にでも該当する場合には、当金庫はこの貸金庫の使用申込をおことわりするものとします。</u> 第13条（解約等）	カードの暗証その他の届出事項に変更があったときには、直ちに書面によって当店に届出てください。正鍵またはカードを失ったときも同様とします。 (2) 略 第7条（印章、カード、鍵の喪失時の取扱） 第9条（追加） 第8条（印鑑照合、暗証番号等） 第9条（損害の負担等） 第10条（反社会的勢力との取引拒絶） この貸金庫は、第11条第3項第1号、第2号AからFおよび第3号AからEのいずれにも該当しない場合に利用することができ、第11条第3項第1号、第2号AからFまたは第3号AからEの一にでも該当する場合には、当金庫はこの貸金庫の使用申込をおことわりするものとします。 第11条（解約等）

注：下線部分が変更箇所

新	旧
(1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。 この場合、<u>カード、正鍵</u>および届出の印章を持参し、当金庫所定の手続をしたうえ、貸金庫をただちに明渡してください。 なお、<u>カード、正鍵</u>または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか第8条に準じて取扱います。 (2) 次の各号の一にでも該当する場合には、当金庫はいつでもこの契約を解約することができるものとします。 この場合、当金庫から解約の通知があったときは、直ちに前項と同様の手続をしたうえ貸金庫を明渡してください。第3条により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。 ① 借主が使用料を支払わないとき ② 借主について相続の開始があったとき ③ 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当金庫もしくは第三者に損害を与えまたはそのおそれがあると認められる相当の事由が生じたとき ④ 借主または代理人がこの規定に違反したとき ⑤ 当金庫による店舗の改築、閉鎖あるいは当金庫にその他相当の事由があり、契約を継続することができないとき ⑥ <u>カードの改ざん、不正使用その他相当の事由があるとき</u> ⑦ <u>借主名義人が存在しないことが明らかになったとき、または借主名義人の意思によらず契約、使用されたことが明らかになったとき</u> ⑧ <u>本邦または外国の法令・規制や公序良俗に反する行為に使用され、またはそのおそれがあると認められるとき</u> ⑨ <u>法令で定める本人確認等における確認事項や第2条に定める利用目的の申出内容に偽りがあるとき</u> ⑩ <u>マネー・ローンダリング、テロ資金供与、不正な目的で利用され、またはそのおそれがあると当金庫が認め、マネー・ローンダリング等防止の観点で</u>	(1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。 この場合、正鍵および届出の印章を持参し、当金庫所定の手続をしたうえ、貸金庫をただちに明渡してください。 なお、正鍵または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか第7条に準じて取扱います。 (2) 次の各号の一にでも該当する場合には、当金庫はいつでもこの契約を解約することができるものとします。 この場合、当金庫から解約の通知があったときは、直ちに前項と同様の手続をしたうえ貸金庫を明渡してください。第2条により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。 ① 借主が使用料を支払わないとき ② 借主について相続の開始があったとき ③ 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当金庫もしくは第三者に損害を与えまたはそのおそれがあると認められる相当の事由が生じたとき ④ 借主または代理人がこの規定に違反したとき ⑤ 当金庫による店舗の改築、閉鎖あるいは当金庫にその他相当の事由があり、契約を継続することができないとき ⑥～⑪ (追加)

注：下線部分が変更箇所

新	旧
<u>解約が必要と当金庫が判断したとき</u> ⑪ <u>第7号から第10号の疑いがあるにもかかわらず、正当な理由なく当金庫からの確認に応じないとき</u> (3) 略 (4) <u>前2項または前3項の明渡しが遅延したときは、遅延損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌月から明渡しの日の属する月までの使用料相当額を月割計算により支払ってください。この場合、第4条第3項に基づく返戻金は、遅延損害金に充当します。</u> 不足額が生じたときは直ちに支払ってください。 なお、当金庫はこの不足額を明渡しの日に関第4条第1項の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。 (5)～(6) 略 第14条（貸金庫の修繕、移転等） (1) <u>貸金庫の修繕または移転その他やむを得ない事情により、当金庫が格納品の一時引取りまたは貸金庫の変更を求めたときは、直ちにこれに応じてください。</u> (2) <u>前項のほか、貸金庫の修繕または移転その他やむを得ない事情により、借主が使用する貸金庫の継続使用ができない場合には、当金庫は借主に通知することにより貸金庫を変更できるものとします。この場合、貸金庫の変更の効力は、当金庫指定の日に生じるものとします。</u> (3) <u>前項に基づき貸金庫を変更する場合には、借主は当金庫による通知内容に従って当金庫所定の手続きを行うものとします。この場合、借主が当金庫所定の手続きを行うまでの間、当金庫は内函ごと取り出し、当金庫指定の場所に移送して保管することができるものとし、保管に要する費用は借主の負担とします。なお、当金庫は貸金庫の格納品の取り出しに際して公証人等に立ち会いを求めることができるものとします。</u> 第15条（緊急措置）	(3) 略 (4) 前3項の明渡しが遅延したときは、遅延損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌月から明渡しの日の属する月までの使用料相当額を月割計算により支払ってください。 不足額が生じたときは直ちに支払ってください。 なお、当金庫はこの不足額を明渡しの日に関第3条第1項の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。 (5)～(6) 略 第12条（貸金庫の修繕、移転等） 貸金庫の修繕または移転その他やむを得ない事情により、当金庫が格納品の一時引取りまたは貸金庫の変更を求めたときは、直ちにこれに応じてください。 (2)～(3) (追加) 第13条（緊急措置）

新	旧
第16条（譲渡、転貸等の禁止） <u>（1）貸金庫の使用権は譲渡、転貸または質入れすることはできません。</u> <u>（2）カードは、譲渡、質入れまたは貸与することはできません。</u> 第17条（規定の変更） <u>（1）この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、当金庫ウェブサイトへの掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。</u> <u>（2）前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。</u> 以上	第14条（譲渡、転貸等の禁止） 貸金庫の使用権は譲渡、転貸または質入れすることはできません。 第17条 （追加） 以上